

不朽の名作、重松清「とんび」 待望の初映画化



幾度途切れても必ず繋がってゆく親子の絆を描く、大ベストセラー 小説「とんび」。今この時代にこそ届けたいと、初映画化が実現。 主人公の、破天荒ながら愛すべき父・ヤス役には、『テルマエ・ロ マエ」「下町ロケット」などの大ヒット作で、圧巻の表現力と存在 感を放つ阿部 寛。ヤスの息子・アキラ役には、若手実力派の中で も突出した才能を発揮する『君の膵臓をたべたい』『東京リベン ジャーズ』の北村匠海。さらに、多くの深遠な物語をエンターティ メントとして昇華させてきた監督・瀬々敬久の元に、薬師丸ひろ子、 杏、安田顕、大島優子、麻生久美子、他豪華キャストが集結。 これは、古き良き時代の物語にとどまらない、新たな時代への 希望を予感させる、今、そして未来へ繋がる家族の絆の物語。

ORY 日本一不器用な男・ヤスは、愛す る妻・美佐子の妊娠にも上手く喜 びを表せない。幼い頃に両親と離別したヤスにとって、"家族" は何よりの憧れだった。時は昭和37年、瀬戸内海に面した備 後市。アキラと名付けた息子のためにも、運送業者で懸命に働 くヤス。だが、ようやく手にした幸せは、妻の事故死によって 打ち砕かれる。悲しみに沈むヤスだったが、人情に厚い町の人々 に叱咤激励され、彼らの温かな手を借りてアキラを育ててゆく。 そんなある日、誰も語ろうとしない母の死の真相を知りたがる アキラに、ヤスは大きな嘘をついた







